



ロータス林のわくわく通信

裏面も見てね!

10月号



平成26年10月10日発行

皆様こんにちは。一ヶ月のご無沙汰でした。お変わりございませんか?

いよいよ待望の、待ちに待った、一年で最も過ごしやすく、体力、気力共に充実する、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋と言われる季節、そして「今やれん」といつやるん?という絶好の仕事シーズンと言えるかもしれませんね。

町を歩くときンモクセイの匂いが秋風に乗って漂い、とても心地よいお散歩タイムに恵まれたのも束の間、台風でキンモクセイシーズンも終わりの、「季節よ、もっ少しスローに移ろって」と名残惜しく感じる今日この頃です。

さて、10月から、学校や官公庁、銀行など制服を着用するところで実施された衣替え。衣替えの習慣の歴史は江戸時代の武家社会からだそうです。

4/1~5/4までが、裏地付の着物の「袴(あわせ)」、5/5~8/末までが、裏地なしの単仕立ての着物の「帷子(かたむす)」、9/1~9/8までが、裏地付の着物の「袴(あわせ)」そして、9/9~3/末日までが、表布と裏布の間に綿をいれた「綿入れ(めんいれ)」の着用を定められ、年4回も衣替えをしていたようです。今のうちに6月1日と10月1日になったのは明治以降で、制服に限らず、和服の着用も6月から9月までは「単」を、10月から5月までは「袴」を着用するのが決まりだそうです。

「綿入れ」の季節と言っても、まだエアコンのスイッチをONしたいほど、朝夕と日中の寒暖差が激しいので、来る冬に向けて体調万全に備えておきたいですね。今月も宜しくお願いします。

なっちゃんのオススメ映画 '舞妓はレディー'



Shall we ダンスの周防正行さんが監督の、絶賛上映中の映画、'舞妓はレディー'。ストーリーは、舞妓がたった一人しかいない京都の花街・下八軒を訪ねてきた、舞妓になりたい津軽育ちの女の子が立派な舞妓さんになるまでを描いたエンターテインメント作!

今年春に、京都の「都をどり」を観てきたばかりでしたので、とっても楽しくて、「娯楽映画って、こんな映画の事言うんじゃ〜」と、肩の力がす〜と抜けて、気分がとっても華やかになる作品でした。ミュージカルがお好きな方はぜひオススメする映画です。

ジェンダー・ニュートラルなトイレ



this is an ALL-GENDER restroom

米カリフォルニア大学で、トランスジェンダー(性同一障害)の学生に対応するため、10のキャンパスで男女の区別がないトイレを設置し、今後増やしていく計画だそうです。

この計画については今年2月、同州で「トランスジェンダーの児童・生徒の権利を補償する法律」が成立し、これにより生まれ持った生物学的な性別ではなく、自己意識に一致する性別にしたがって学校のトイレなどの施設を利用し、男女別の活動に参加できる権利が保障されるという法律に則した対応だそうです。

トランスジェンダーの割合は、300人に1人とされていることから、この大学の10のキャンパスの23万8000人の学生のうち、トランスジェンダーの人数は800人に及ぶとみられ、利用する人も多いと予測されているそうです。

しかし、レスビアン、ゲイ、バイセクシャルな人たちすべてに、ロッカールームなどすべての施設に対応するだけでも複雑なのに、競技などの参加はどうするのか、考えるだけでも複雑極まりない気がします。



トランスジェンダーシンボル

火災保険 長期契約停止へ

先日、損害保険ジャパン日本興亜と、三井住友海上火災保険などの損害保険主要社が、異常気象(集中豪雨の頻発や、都市部での大雪など)による建物被害が増加傾向にあり、長期契約での収支予測が難しくなったため、10年を超え、期間の火災保険の新規契約引き受けを来春(2015年)秋にも停止する方針を固め最終調整に入ったと報じられました。

火災保険は住宅や店舗などの建物が対象で、火災や風災の他、洪水や土砂崩れによる水災等で受けた被害を補償する保険で、現在は一年単位で契約出来、長期にわたる契約を希望する場合は、最長で30年まで選択でき、保険料は長期になればなるほど割安になっています。

住宅購入者に対し、35年等の住宅ローン返済期間に合わせ提供するプランがなくなれば、住宅ローン債務者の、無保険状態リスク、が非常に高まるかもしれないですね。

ラウンド交差点



1日から施行された改正道路交通法で、交差点に信号を設置せず、丸い交差点に進入すれば自分の出たいところに出て方向転換するという環状交差点が設置され、すでに7都府県の15カ所で適用されているそうです。



標識はこんなだそうです。出損なってしまうぐるぐる回る車で大渋滞が起きるかもです。都会へ行くときには気をつけましょう。

再生医療用iPS細胞ストックプロジェクト

ヒトiPS細胞の発見でノーベル生理学・医学賞を受賞した京都大学の教授で、iPS細胞研究所の山中伸弥所長は、臨床応用研究に利用するためのヒトiPS細胞の製造準備を進めていると、シンポジウムで語ったそうです。

なぜならいくつかの怪我や病気では、発症からなるべく早い時期での移植治療が望ましいものがあり、その場合、いち早く、またできるだけ低コストで移植用の細胞を届けるべく、あらかじめ安全かつ有効なiPS細胞を準備しておく必要があるのだそうです。(現在の手法は、患者自らの細胞を使うので、培養にかかる期間が長く、尚且つ、一移植毎に多額の費用が必要らしい。)

移植細胞の基となる安全かつ高品質のiPS細胞を培養するにあたって、私たちの中には、様々な移植に適合できる細胞を持つドナーがいるんだそうです。驚きですね。しかも、たった140名のドナーで日本人の90%をカバーするiPS細胞ストックが出来るとのことです。二重に驚きです。これには、約20万人のHLA(ヒト白血球抗原)を調べる必要があるとのこと。「わずか20万人で、貴重な細胞を持つドナー140人が見つかるんですか!」と三重に驚きです。という事は、1000人に7人、様々な移植に適合できる細胞を持つドナーがいるってことになりますね。詳しくは、ネットに掲載されていますので見て下さい。

アドレスです。 http://www.jst.go.jp/ips-trend/network/pdf/event/symposium/no05/poster/ks_c01.pdf

iPS細胞と再生医療

- パーキンソン病(京都大) 平成28年度
- 網膜色素変性症(理化学研究所) 27~28年度
- 貧血 29年度以降
- 白血病 31~34年度
- 脊髄損傷(慶応大) 29年度
- 心不全(大阪大) 27年度
- 肝不全(横浜市立大) 29年度以降
- 糖尿病(東京大) 29年度以降
- 腎不全(京都大) 34年度以降
- 変形性関節症(京都大)、筋ジストロフィー 31年度以降

※年は文部科学省の臨床研究開始
目標、カゴ内は主な研究機関

スタッフ 岡本直也君

「検査員」資格取得にチャレンジちゅう!



弊社の整備主任者として、地方運輸局に申請してから一年が経過したスタッフの岡本直也君が、本来国が行うべき自動車の検査業務を代行できる「自動車検査員」という資格取得にチャレンジしています。見事合格すれば「みなし公務員」!

合格発表までカウントダウンです。

ウィリアム王子

民間企業で勤務



イギリス王室はウィリアム王子が、来年春からヘリコプター運行会社「ポンドエアサービス」へ勤務し、救急ヘリコプターのパイロットとして、活動することになったと発表しました。王室の公務を続けつつ、夜勤のシフトにも組み込まれた操縦士の仕事に重点を置き、給料は、全額を慈善団体に寄付するそうです。

日本で皇太子様が民間企業に就職すると、どのような職にお就きになるのか、それ以前にセキュリティの問題で宮内庁、大騒ぎでしょうね。お国が変われば事情も変わりますね。